

夏のイベント★参加者募集!!

中央図書館

1. でかぞうクラブ【ストローでヒンメリ作りとおはなし会】

日時:7月26日(水) 14:00~15:30

場所:中央図書館 4階 視聴覚室

対象:小学1~4年生 定員:15名(先着順) 費用:無料

申込み:7月19日(水)9:30~ 中央図書館へ(電話可)

2. おはなしの庭【ストーリーテリング(すばなし)】

日時:8月2日(水)・23日(水) 14:00~14:40

場所:中央図書館 4階 視聴覚室

対象:5歳くらいから小学生

定員:各回20名程度(先着順) 費用:無料

申込み:7月26日(水)9:30~ 中央図書館へ(電話可)



狭山台図書館

1. ビブリオバトル

日時:7月23日(日)・8月27日(日) 15:00~16:00

場所:狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象:小学生~大人 費用:無料 申込み:不要 持ち物:おすすめの本1冊

2. ネイチャーゲーム【狭山の豊かな自然にふれよう】

日時:7月29日(土) 10:00~12:30 場所:狭山台中央公園

対象:小学1~4年生と保護者 定員:10名(先着順) 費用:無料

申込み:6月21日(水)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可)

3. ブッカー体験

日時:8月9日(水)・10日(木) ①11:00~12:00 ②15:00~16:00

場所:狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象:小学4~6年生 定員:各回4名(先着順) 費用:無料

申込み:7月22日(土)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可)

4. でかぞうクラブ【ねんどのスライム作りとおはなし会】

日時:8月19日(土) 14:00~15:30

場所:狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象:小学生 定員:8名(先着順) 費用:無料

申込み:8月5日(土)9:30~ 狭山台図書館へ(電話可)



5. わくわくサイエンス【アラゴーのコマ&ベンハムとゾートロープの実験】

日時:8月26日(土) ①13:00~14:30 ②15:00~16:30

場所:狭山台図書館 2階 視聴覚室

対象:①小学1~2年生(要保護者同伴) ②小学3~6年生

定員:各回8名(先着順) 費用:130円

申込み:8月17日(木)9:30~ 費用を持って狭山台図書館窓口へ

よむぞうタイムズ 86号

3年生 4年生

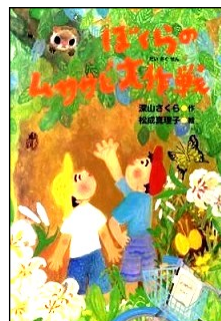
狭山市立図書館 2023.7.15発行

日本はそれほど広い国ではないけれど、国土の三分の二は森林で、とても緑の多い国なんだ。これって世界第二位なんだって。数年ぶりのマスクなしの夏休み、森でおもいきりしんこきゅうしようよ。今回は、木や森の本をしょうかいするね。



『ぼくらのムササビ大作戦』(JP3)

深山 さくら/作 松成 真理子/絵 国土社



「ムササビがすんでいるんだよ、あの木に。」
グライダーのようにムササビが飛び出した大イチョウが切られてしまう!?ムササビの「木の道」を守れ!山に向かっていくには、どうしてもあの木が必要なんだ。
友樹たち「ムササビたすけ隊」が立ち上がる。

『おおきなきがほしい』(EE4) さやまの100冊

佐藤 さとる/ぶん 村上 勉/え 偕成社



かおるがほしいのは、木のぼりができるような大きな木。ひとりではかかえられないくらい太くて、中からも外からもはしごでのぼっていける。とちゅうの枝にはすてきなこやもあるんだよ。ねえ、きみならどんな木がほしい?

図書館のホームページから、読みたい本の予約ができます。
休館日や開館時間、イベント等の最新情報もこちらからご確認ください。

狭山市立中央図書館 ☎ 04-2954-4646
狭山市立狭山台図書館 ☎ 04-2958-3801
狭山市公式HP <https://www.city.sayama.saitama.jp/>



『ドングリ山のやまばあさん』(JPT)

富安 陽子/作 大島 妙子/絵 理論社

ドングリ山のやまばあさんは、296才の元気なやまばあ。山のてっぺんに生えた大きなクスノキに住んでいる。あるとき山に、ぎん色のウロコにおおわれた三本足のふしぎな怪物が現れた。それっていったいどんな生き物? 「あいたい! 見たい! つかまえたい!」やまばあさんが、怪物探しして山の中をかけめぐる。



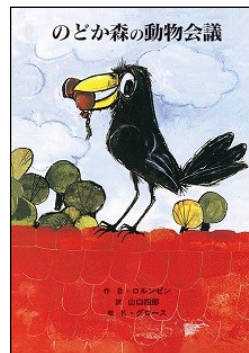
やまばあさんのシリーズ

- 『やまばあさん海へ行く』
 - 『やまばあさんの大運動会』
 - 『やまばあさんのむかしむかし』
 - 『やまばあさんとなかまたち』
- もあります。ぜひ、読んでみてね。

『のどか森の動物会議』(JS口)

ボイ・ロルンゼン/作 山口 四郎/訳
カールハインツ・グロース/絵 童話館出版

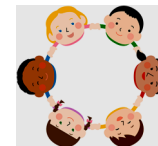
のどか森はとても豊かで動物たちが安心してくらせる絶好のすみか。ところが、近くの村の村長が森の木を切って、高く売ろうと考えた。このままだと平和な森があらされてしまう。村人たちから森を守るんだ。動物たちの戦いが始まる。



『木になろう!』(EKサ) かりあい、ささえあう
マリア・ジャンフェラーリ/ぶん
フェリシタ・サラ/え ひさやま たいち/やく
評論社

木と人間はにている。皮ははだの役目をし、みきは体全体の形を決めるせぼね。そして地面の下にはりめぐらされた根は、自分の体をささえながらまわりの木々とつながり、語り合っている。

木々が集まった森は強い。それは、みんなで助け合っ
て生きているからなんだ。



『まんまるつんつん木のカタチ』(EKサ)

上原 巖/監修 佐藤 直樹/絵
栗山 淳/構成 農山漁村文化協会

「木のカタチって、どんなカタチ?」小さな木が育ちながら自分のカタチをつくっていく。枝を上へのばす木もあれば、横へと広げるのが好きな木もある。木にも個性があるんだね。きみの好きな木はどんなカタチ?

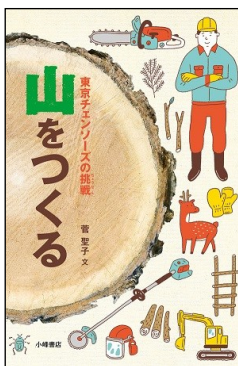


みつけた!自然のかたちのシリーズには、他にも『ぎざぎざくるくる葉っぱのカタチ』『ひらひらふさふさ花のカタチ』があります。

『山をつくる』(J650入)東京チェーンソーズの挑戦

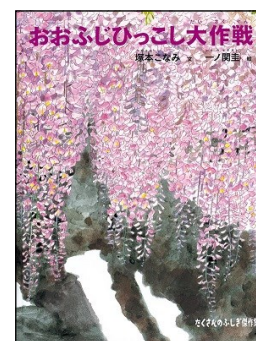
菅 聖子/文 小峰書店

林業は、きつくて危険が多くてもうからない。そんな林業のイメージを変えていこう! 立ち上がったのは東京都ひのはら村にある林業会社「東京チェーンソーズ」。30年先の山のすがたを考へて、木を植えて育てる。東京産の木をたくさんの人にとどけるんだ。「林業は未来の森をつくっていく」



『おおふじひっこし大作戦』(J627ツ)

塚本 こなみ/文 一ノ関 圭/絵 福音館書店



木の医者、樹木医さんがふじのいしよくをひきつけた。生きた木のおひっこしだ。みきのまわりが3メートル以上もあるふじの木は、動かすだけでもたいへん。おまけにいから調べても、いしよくに成功した人はだれもない。おおふじのひっこしにふんとうするひとりの樹木医さんのお話。

<さやまの100冊> 「子どものときに読みたい本100冊」(さやまの100冊)は、教育委員会がおすすめしている本です。ぜひ、読んでみてください。

